



日本骨髄バンクの現状（平成 26 年 11 月末現在）

	10 月	11 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,809	2,453	449,450	626,527
患者登録者数	271	200	2,771	43,488
移植例数	115	118	—	17,642

■11 月年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,636 人
20 代	71,447 人
30 代	147,181 人
40 代	180,554 人
50 代	47,632 人

■11 月の 20 歳未満の登録者 187 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■11 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／661 人、献血併行型集団登録会／1,693 人、集団登録会／61 人、その他／38 人

■11 月末までの末梢血幹細胞移植（PBSC T）累計数：81 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 「語りべ」の話を聞きますか

当法人では、移植によって元気になられた元患者さんや提供経験のあるドナーさん等が「語りべ」となって、全国の学校や企業・団体、またはイベント会場等に出向き、移植や提供に関わる体験談、命の大切さについて講演することによって、骨髄バンクを理解していただく活動を推進しています。

とくに、若年層を中心としたドナー登録者の増加を重点課題として取り組んでおり、高等学校や大学、専門学校等で講演会や勉強会をお考えでしたら、是非とも当法人広報渉外部（03-5280-8111）にご一報いただきますようお願い申し上げます。

なお、「語りべ」への謝礼や交通費のご負担はございません。資料は当法人で準備します。講演時間や内容等は個別に相談させていただきます。

2 来春「卒業」「入学」の 18 歳にチラシ配布

来春、高等学校を卒業する高校 3 年生や大学・短大・専門学校等に入学する新入生を対象に、卒業式や入学式で骨髄バンクのチラシを配布していただける学校を募っています。

ドナー登録可能年齢を迎えた卒業生や新入生の方にこのチラシを読んでいただくことにより、骨髄バンクを理解していただき、一人でも多くのドナー登録が増えることを期待しています。

チラシの配布にご協力いただける場合は当法人広報渉外部（03-5280-8111）に下記までご連絡をお願い申し上げます。

3 非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科の認定について

下記の施設が新たに非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は 181 施設です（11 月末現在）。

◆非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科

・採取施設

宮崎大学医学部附属病院

・移植診療科

同左 第 2 内科

新規認定施設については、当法人ホームページの患者さんへ＞移植認定病院、およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

4 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は、84施設です（11月末現在）。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

- | | |
|-----------|----------------------|
| ・採取施設 | ・移植診療科（6月30日現在で認定済み） |
| 防衛医科大学校病院 | 同左 血液内科 |

※採取認定についての留保が解除となりました。

新規認定施設については、当法人ホームページの患者さんへ>移植認定病院、およびドナー登録されている方へ>面談施設一覧でもご覧いただけます。

5 平成 26 年度 説明員研修会の実施について

来年の2月から3月にかけて平成26年度 説明員研修会を以下の通り全国7カ所で開催します。開催場所や研修内容等の詳細について、説明員の皆さまへ後日案内状を送付します。

■関東甲信越地区（東京会場）	2月7日（土）13:30～16:00	日本教育会館
■中四国地区（岡山会場）	2月11日（水・祝）13:00～15:30	岡山国際交流センター
■中部地区（名古屋会場）	2月14日（土）13:00～15:30	TKPガーデンシティ名古屋新幹線口
■近畿地区（大阪会場）	2月21日（土）13:00～15:30	大阪府赤十字血液センター
■九州地区（福岡会場）	2月28日（土）13:00～15:30	福岡アスクビル
■東北地区（仙台会場）	3月14日（土）13:00～15:30	ANNEX多目的ホール
■北海道地区（札幌会場）	3月21日（土）13:00～15:30	道民活動センタービル

6 舞台「友情」、全国 33 会場 51 公演終了

9月3日の東京公演からスタートした舞台「友情～秋桜のバラード～」が、旭川から鹿児島まで全国33会場で51公演を行い、12月3日の中野サンプラザホール（東京）公演で千秋楽を迎えました。とりわけ9月13日の習志野公演は通算500回目の記念公演となりました。また各会場で地元のボランティアの皆さまのご協力による骨髄バンクPRと募金活動を行い、観客の皆さまから多くの寄付金をいただきました。公演関係者やご協力いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。

7 読売巨人軍選手が病院を訪問

12月1日、読売巨人軍の菅野智之投手と橋本到外野手、鬼屋敷正人捕手が神奈川県伊勢原市の東海大学医学部付属病院（小児科）を訪問し、院内学級のクリスマス会に参加するなど、入院中の子供たちと交流しました。同病院への訪問は、巨人軍が実施している骨髄バンク支援活動の一環として平成18年から毎年行っているものです。

12月5日には杉内投手が東京板橋区の日本大学医学部附属板橋病院（小児科）を訪問、闘病中の子供達と交流しました。杉内投手は骨髄バンク支援ポスターの自費制作や車いすの寄付など、個人として様々な社会貢献活動を行っています。



8 年末恒例の骨髄バンクチャリティゴルフ大会開催

12月1日、神奈川県横浜市の戸塚カントリー倶楽部において、「第9回ぐるなび・骨髄バンクチャリティゴルフ大会」が開催され、大会の趣旨に賛同した90名と女子プロゴルファー30名が参加しました。大会後のパーティでは女子プロからの提供景品によるチャリティオークションが開催され、収益金等が滝久雄大会会長から当法人齋藤理事長へ贈呈されました。大会の様子はゴルフ専門チャンネル「ゴルフネットワーク」にて放映されます。詳細は同局ホームページまで。<http://www.golfnetwork.co.jp/>

12月3日にはプロゴルファー中溝裕子さんの骨髄バンクチャリティゴルフコンペが千葉県成田市のグリッサンドゴルフクラブで開催されました。同大会は中溝プロが骨髄移植を受けた日に毎年開催しているもので、104名の参加者の他に女子プロゴルファー18名が参加しました。参加費の一部とチャリティオークションの売り上げ等が骨髄バンクに寄付されました。

9 「骨髄バンクを支援するいばらきの会」が茨城県から表彰

今年で設立15周年を迎えた「骨髄バンクを支援するいばらきの会」が平成26年度茨城県表彰式において、功績団体県知事表彰を受けました。長年の骨髄バンクの普及啓発活動とドナー登録推進活動が社会福祉の増進に寄与したことが評価されました。会員の皆様に敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

10 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	12月19日(金) 17:30~19:30 廣瀬第1ビル2階会議室
医療委員会	公開・一部非公開	1月17日(土) 13:00~15:30 廣瀬第1ビル2階会議室
臨時評議員会	公開・一部非公開	1月20日(火) 16:30~17:00 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	1月20日(火) 17:30~19:30 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

11 平成 27 年度調整医師再委嘱手続きについて<調整医師の方へ>

委嘱期間が平成 27 年 3 月までの調整医師の先生方に対して、来年 1 月中旬以降に委嘱更新に関する書類をお送りします。ご多忙のところお手数をおかけしますが、施設長の承諾書をご返送くださいますようお願いいたします。

ここ数年、移植件数およびコーディネーター件数の増加に伴い調整医師が不足しています。新しい調整医師の先生をご紹介いただける場合は、ドナーコーディネーター部までご一報くださいますようお願いいたします。申請書等は当法人のホームページからダウンロードすることもできます。

また、業務委託契約制度にご関心がある場合は、地区事務局またはドナーコーディネーター部までお問い合わせください。

(<http://www.jmdp.or.jp/medical/work/invitation.html>)



12 ドナー適格性判定基準（BMT/PBSCT）の改訂について＜調整医師の方へ＞

以下基準が変更となりましたのでご報告します。

【感染症、性病、寄生虫疾患】 P38

＜旧＞ vCJD ヒト胎盤エキス(プラセンタ) 注射剤の使用歴がある場合

※無期限 (55歳まで) 保留 基準 : C

↓

＜新＞ vCJD ヒト胎盤エキス(プラセンタ) 注射剤等の使用歴がある場合

※無期限 (55歳まで) 保留

※イオン療法等美容にてヒト胎盤エキス(プラセンタ)を使用した場合も含みます。

基準 : C

13 DLIにおけるドナーの本人確認について＜コーディネーターの方へ＞

平成 25 年 5 月より、造血幹細胞提供者については確認検査時にドナー本人であることを証明できる公的証明書の提出を求め、本人特定事項(氏名、生年月日、性別、住所、顔写真等)と、コーディネーターが所持する「提供意思確認書(開始シート)」等の記載内容とを照合しています。

ドナーリンパ球輸注療法(DLI)は、造血幹細胞提供後に移植患者側の要請を受け実施していますが、提供から時間が経過している場合もあること、また担当コーディネーターや施設が異なることもあるため、コーディネートの信頼性・安全性担保、ドナー・患者双方の保護の観点から、DLIについても、ドナーの本人確認を実施することとします。詳細は添付資料をご参照ください。

14 インフルエンザ流行拡大に関する対応について＜コーディネーターの方へ＞

国内で、インフルエンザ流行の注意報が本年 11 月 28 日に発令されました。これを受け、昨年同様ドナーコーディネート部にインフルエンザ相談窓口を設置します。また、ドナーおよび患者保護の観点から、コーディネート進行中のドナーの方へ対応をお願いします。

詳細は添付資料をご確認ください。なお、対応については今後の状況により変更されることもあります。その際は随時、連絡します。

■主な内容

- コーディネーター、ドナーへマスクを配布します。
- ドナー選定時にドナーへインフルエンザに関するチラシを送付します。
- チェックシートを用いてコーディネーターがドナーの健康状態をチェックします。
- ドナー、コーディネーター、事務局員がインフルエンザを発症したり症状が見られた場合は接触を避け、速やかに報告し、指示を仰ぎます。

15 デング熱への感染の確認に係る今後の対応について(終了のお知らせ)

当法人では、平成 26 年 9 月 8 日よりドナーに対してデング熱に関する注意喚起並びに問診強化の対応を実施してまいりましたが、感染発生は、ほぼ収束したものとみられていることから(厚生労働省通知)、本年 11 月 14 日をもって終了となりました。

**16 温度管理下での末梢血幹細胞運搬用 BOX の貸出しについて〈移植医師の方へ〉**

この度、当法人では温度管理可能な末梢血幹細胞運搬用 BOX（以下、「保冷 BOX」という）の貸出しを平成 27 年 1 月 5 日（月）から行います。

運搬に関しましては、これまでどおりご対応をお願いしたいと存じますが、この保冷 BOX の利用を希望される場合は、移植日の 14 日前までに移植調整部までご連絡ください。なお、保冷 BOX の数に限りがありますので、ご要望に添えない場合がありますことをご了承ください。

詳細については、添付資料をご確認ください。

17 移植後 100 日報告の提出案内等の変更について〈移植施設の医師の方へ〉

平成 27 年 1 月 15 日（木）より日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）が管理する第二世代移植登録一元管理プログラム（TRUMP2）が運用開始となります。これに伴い、下記のとおり変更となります。

① 平成 26 年 9 月移植分

- ・提出のご案内は平成 27 年 1 月 15 日に発送しますので、それ以降に入力してください。
- ・入力前に TRUMP2 にバージョンアップしてください。
- ・提出締切日は移行期間のため平成 27 年 2 月末日です。

② 平成 26 年 10 月移植分以降

- ・提出のご案内は郵送から FAX になります。
- ・これまで郵送していた「移植時情報」「HLA データ」は TRUMP2 で確認できるようになりますので、書類での案内は廃止します。

③ 受理連絡・未報告／不備症例について

- ・日本骨髄バンクからの FAX や郵送での督促は廃止します。

○ご不明な点がございましたら、当法人新規事業部（Tel：03-5244-5885）までお問い合わせください。
TRUMP2 を用いた移植症例の入力に関しては、JDCHCT のホームページをご参照ください。

(<http://www.jdchct.or.jp/trump/>)

○本件については別途、日本赤十字社（支援機関）から詳細なご案内文書が送られます。
なお、案内文発送にあたり下記についてご確認ください。

〈移植認定診療科情報の日本赤十字社（支援機関）への提供について〉

移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律の施行に伴い、日本赤十字社は「造血幹細胞提供支援機関」（以下、「支援機関」という）として指定を受け、造血幹細胞移植関連システムの関係機関（※）との連携等に関することを支援していることから、今後、移植施設に関することで各機関に共通した案件は、支援機関より連絡することがあります。

つきましては、当法人が保有する「移植認定診療科」情報のうち、施設名・診療科名・連絡責任医師 FAX 番号を支援機関に提供いたしますことをご了承ください。

※関係機関：各さい帯血バンク・（一社）日本造血細胞移植学会・（一社）日本造血細胞移植データセンター・（公財）日本骨髄バンク